

1. 件名：「トランスニュークリア株式会社 特定兼用キャスクの設計の型式証明申請に関する面談について（収納物のウラン濃縮度について）」

2. 日時：令和5年1月27日 13時30分～14時00分

3. 場所：原子力規制庁 9階A会議室

4. 出席者

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

戸ヶ崎安全規制調整官、松野上席安全審査官^{*}、櫻井安全審査官

（核燃料施設審査部門）

松本企画調査官^{*}、田中管理官補佐^{*}、甫出主任安全審査官^{*}、

尾崎安全審査官、田口技術参与

トランスニュークリア株式会社：営業部部長シニアバイスプレジデント 他3名

5. 要旨

（1）トランスニュークリア株式会社（以下「TN」という。）から、令和4年12月23日付けで申請があった発電用原子炉施設に係る特定兼用キャスクの型式証明について、本日提出のあった資料に基づき、申請書（添付資料）の39,000MWd/t型収納物のウラン濃縮度の記載については、ウラン濃縮度の最大値を記載すべきところ、最小値を記載しており記載ミスがあった旨説明があった。

（2）これに対し、原子力規制庁から、当該記載ミスについて確認し、記載ミスの内容と原因、他への影響についての説明が必要である旨伝えた。また、本件については、次回の審査会合で説明すること。

（3）TNから、了解した旨回答があった。

なお、本面談については、TNから対面での面談開催の希望があったため、「緊急事態宣言解除を踏まえた原子力規制委員会の対応」（令和3年10月6日 第36回原子力規制委員会 配付資料1）を踏まえ、対面で実施した。

6. その他

提出資料

・ 39,000MWd/t型収納物のウラン濃縮度について

以上